

ひびこうじつ
中土佐町「日々好日」空間整備計画

7. 政策的指標関係 ③ → 指標8関係

中土佐町が実施している未来志向かつ先駆的な事業

「鯉乃国の元気塾」概要書

活動開始の経過、目的	<p>平成10年、介護保険の実施を控えデイサービスの見なおしをしたところ、比較的元気な高齢者が通所していることが判明。このため、デイに行くことが出来なくなった高齢者の受け皿としてB型機能訓練事業「はつらつ教室」を平成10年より実施することとなり11年度までおこなった。</p> <p>このはつらつ教室は一定の成果を収めた反面、いくつかの問題点、課題も残した事業であった。それは、事業の運営が、高齢者に対して「健康情報を届けてあげる、楽しましてあげる」というあり方になっていたことであった。具体的には、出席の確認電話、送迎までもを保健師、理学療法士、栄養士が行っていた。</p> <p>「高齢者を受身の立場、庇護の対象者としていたのではないか、高齢者のできることまで私たちがしていたのでは、役割まで私たちが奪っていたのでは…」という事となり、これまでの事業を全面的に見なおしを行なう必要があるとの結論に達した。</p> <p>以上の反省に立ち、「主体性、地域、役割」という視点を大事にしながら、高齢者の高齢者による高齢者のための「鯉乃国の元気塾」を開塾しました。</p> <p>塾の目的は、広義には「高齢者が自分の生活しているそれぞれの地域で1人1人が持てる役割を持ちながら生活していく。」狭義には、「生きがいをもって健康な生活をおくる。」そのための生活の一部として位置付けました。</p>
活動内容	<p>町内11ヶ所（自分の生活範囲で歩いていける場所に設置。）の地区の集会所等で月に2回実施。活動プログラムはありません。あえて作りませんでした。自分たちがしたいことを自分たちが決め自分たちが主体的に行なっていきます。自分たちがしたいことを見つけることから出発です。1日中話しをしている塾。料理が得意な塾生を中心に料理を作る塾。歌あり踊りありそしてごろ寝ありと何でもありです。</p> <p>子どもたちが塾にやってきます。子育て真っ盛りの若いお母さんは大先輩のおばあさん、おじいさんから「子どもはこんなに育てないかね。」と智恵袋をいただきます。高齢者は子どもたちから無心の笑顔を受け取ります。障害者も塾を訪れます。</p> <p>塾は出会いの場であり、お互いを認め合う場でもあります。</p> <p>平成12年から始まった元気塾、住民の交流が広がっています。</p>

<p>事業の特徴、類似事業との相違点</p>	<p>ミニデイサービスではありません。単なる健康教室でもありません。高齢者が地域で自分たちをみつめ、自分らしく生き、自分たちの役割と尊厳を取り戻す場でもあります。</p> <p>基本は 年を重ねているから担える役割がある。 1人1人ができることから始めよう。 1人1人が輝き、地域が、まちが輝いていく。</p> <p>との考えに基づいた地域づくりです。</p>
<p>事業の効果</p>	<p>高齢者の主体的活動により</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の暮らしが生き生きとしてきている。 2. 閉じこもり予防 3. 健康づくり、生きがいつくりにつながっている。 4. 地域の連帯感が深まっている。 <p>(評価についての詳細は別紙のとおり)</p>
<p>関係機関等</p>	<p>中土佐町福祉保健課 中土佐町在宅介護支援センター 中土佐町社会福祉協議会 高知県福祉保健所</p>